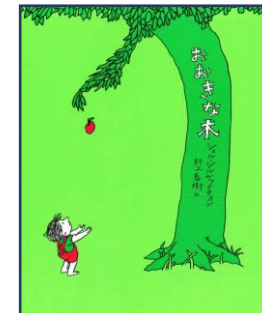


まなびあんだより 令和6年春号 中高生版

新学期がはじまりましたね。あたらしい学校、あたらしい学年、あたらしいクラス——友達できるかな…と、ドキドキの季節です。そんな時、本をつかってコミュニケーションをとってみたいかがでしょうか。「この本が好き」「この本を読んでいる」と伝えるだけで、話のきっかけになりますし、あなたがどんな人か少しわかってもらえるかもしれません。まなびあんの職員も自分のとっておきの本をご紹介します。読んでみると、職員がどんな人なのか、なんとなく感じられるのではないのでしょうか。みなさんも、ぜひ本をつかって自己紹介をしてみてください。



ふみさんの
だいじにしたい本



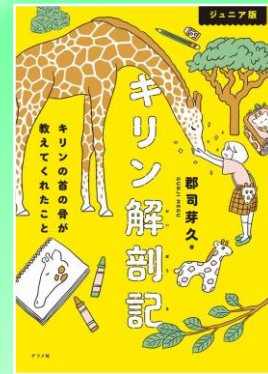
▲『おおきな木』(シェル・シルヴァスタイン/作、村上春樹/訳 あすなろ書房)

幼い男の子が成長し、老人になるまで温かく見守り続ける1本の木。

木は自分の全てを彼に与えてしまいます。それでも木は幸せでした。

あなたは男の子と木、どちらに似ていますか？ひょっとすると両方かもしれません。この物語の中に何を感じるでしょうか。

大人になっても読んでほしい絵本です。



ちあきさんの
感動した本

◀『ジュニア版 キリン解剖記 キリンの首の骨が教えてくれたこと』(郡司芽久/著 ナツメ社)

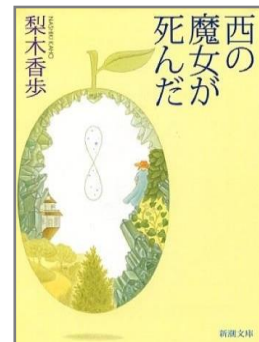
「解剖」に感動って…え、この人……。と、遠ざからないで！私は雅な文系女子です！！……まあ雅かどうかはさておいて、こんなド文系な私でもおもしろく読めたのが、この『キリン解剖記』。

私たちもキリンも「哺乳類」です。哺乳類の頸椎(首の骨)は7個と決まっているのに、キリンには8番目の首の骨が！？その謎を見つけるまでの葛藤や、謎を解決するための奮闘など、著者郡司さんの研究生活が書かれています。「勉強」と「学問」はちがいます。自ら謎を見つけて、解き明かすことのなんとおもしろいことか！



じゅんさんの
おすすめの本

▶ 梨木香歩『西の魔女が死んだ』(新潮文庫刊)



中学生の読書感想文の選書をお手伝いする時、特に希望作家やジャンルがない場合、まず紹介するのがこの本です。

小学校から中学へ進む。学年が1つ大きくなるだけですが、学校生活は大きく変化します。中学の一学期で不登校になった主人公のまいのように、その変化に対応できず、戸惑い、思い悩む人も多いのではないのでしょうか。まいは「学校は私に苦痛を与える場所ではない」と母親に訴えます。

「生きづらさ」を感じる多感な時期のみなさんにぜひ読んでもらいたい一冊です。なにかしらのアドバイスがきっとあります。

まなびあん開館5周年ありがとうイベント

2019年4月27日にまなびあんがオープンしました。

今年で5周年！

1年を通してさまざまなイベントを企画していますので、お楽しみに♪

5/26(日) まるっと1日U-DASHデー 午前10時～午後3時

ユーダッシュショー(午前10時30分～)のほかにも

いろんなキッチンカーが芝生広場にやってきます！

- ★ 居酒屋食堂 話笑和 (からあげ)
- ★ アトリエマノン (焼き菓子)
- ★ WILL (ハンバーガー・ホットドッグ)
- ★ うみとカモメ (フルーツサンド・いちごスムージー)
- ★ Chaleur-シャルール- (ドリア・スパグラ・コーヒー・バスチー)

出店店舗一覧 ✿

● 開館時間：午前9時～午後7時

● 休館日：毎週月曜日

月末最終日の図書整理日 (4/30、5/31、6/30)

● お問い合わせ：☎ 0894-62-6420

西予市図書交流館

まなびあん